



大阪北青年部部長  
松山 大祐

この度、大阪北青年部部長を拜命することとなりました。松山大祐と申します。今期は大阪北支部天神青年部の部長を務めさせて頂きました。親先生、諸先輩のご指導、そして会員のみなさんのお力添えのおかげで大過なく部長を務めさせて頂いた。心より御礼申し上げます。

新青年部がスタートするこの節目の期に部長という大役を仰せつかり、身の引



堺青年部部長  
芦田 佳世子

お家元様、ご宗家ご一同様、総本部の皆様、親先生、青年部の皆様、多くの方に支えて頂いて、今日まで青年部を続けていくことが出来ました。心より感謝申し上げます。このたび新しい堺青年部の部長を拜命し、先輩方の守ってこられた「利休居士のふるさと」の青年部としての活動を伝えていくために、これから私に何が出来るのか、甚だ不安

き縮まる思いです。また一方で親先生、諸先輩のご指導のもと会員みんなで力を合わせて新しい青年部をつくっていくことに楽しみも感じております。

大阪北青年部は、天神青年部となりにわ津青年部とが合併して誕生します。同じ支部にありながらも、それぞれに諸先輩・会員皆で育んできたすばらしい個性があります。

天神青年部をひとことというなら「楽しむ」。なにわ津青年部をひとことというなら「おもてなし」。お茶を学ぶものにとって大切な「おもてなしの心」と青年部活動を行ううえで大切な

なことがかりではございますが、精一杯努めて参ります所存です。何卒お導きください。どうぞよろしくお願い申し上げます。かの「南方録」には、南宗寺を始め、堺の地名が多く登場いたします。このご挨拶に際し今一度「堺」を探してみたくなり読み返してみますと、地名だけに限らず、その心は青年部にも通じる場所があると気付かされました。例えば「宗易は、野遊び(野点)などに決まった法(ルール)はないが、根本の核はきちんと備わっていないければならず、興が乗りすぎて雑談の席に

「楽しむ心」。この過去に培ってきた二つの個性がたくさんのプラスの相乗効果となり、新しい大阪北支部の個性をつくり、その個性がこれからの大阪北支部の礎となっていくのではないかと

思っています。大阪北青年部全員でおもてなしの心と楽しさにあふれる青年部をつくりたいと思っております。

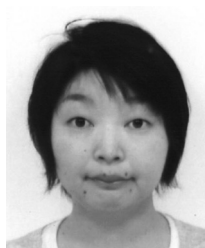
末筆となりましたが、御宗家の皆様、総本部の皆様、親先生・諸先輩方に深く感謝申し上げますとともに今後ともご指導頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なってしまうてはいけませんと仰せです。青年部の活動も、楽しむときは力いっぱい楽しむ、ただし基本のお稽古をしっかり守ることが必要なのだ、と私なりに解釈しています。一生懸命お稽古に励み、さまざまな知識を得、そして茶友を招いて心のこもったおもてなしができるようになるれば、どんなに楽しいことでしょうか。その茶友に出会えるのが青年部なのだと思います。青年部の先輩方が教えてくださったそんな楽しさを、皆様と共有できるように精進して参りたいと存じます。



和歌山青年部部長  
山口 優子

この度、吉備部長の後任として近畿第二ブロック和歌山青年部部長という大役を拜命させて頂きました。今年度、地区大会をはじめさまざまな事業への参加を予定しております。私自身、茶道経験はまだまだ初心者ではありますが、礼儀作法はもろもろのこと茶道における深い教えを私なりに感じ、勉強させて頂きたいと意気込んでおります。皆様



南紀青年部部長  
山口 優子

私たちの南紀青年部は若千十名の少数青年部です。貴重なこの十名の部員です。全員が揃うことは難しく、各種のイベントなどに参加できる人も限られています。この少人数でも何とか乗り切らせてもらえるのは、南紀支部の先生方の助けはもちろんのこと、支部に入っていない身近な方々や、地元茶道部の高校生たちの協

方に教えて頂くことばかりだとは思いますが、精一杯頑張りますのでお力添えを何卒よろしくお願い致します。和歌山青年部での活動を通して、友情と思いやりの心を育み、各人それぞれが何かしらの気付きを得られるような場となるべく邁進致します。ひとりでは成しえない事も、和歌山青年部が一丸となって取り組むことで素晴らしい事業を展開して行くことができると考えております。事業活動を通して、その活動結果のみならず、心の成長にも繋げて行くことができるよう取り組んで参ります。また

としても、「お茶」というものを深く感じることはできなかったかもしれない。ですが、深くその意味を理解できないとしても、小さな頃から「お茶」とかかわっていたならば何か変わるのではないかと思います。今のこの想像力の欠如した人々が増えている時代だからこそ、本来の「日本の心」を伝える茶道がたくさんの人々に広まれば良いと思います。そのために、この地域で皆さんと協力し合い、色々なイベントにも参加し、「お茶」の楽しさを伝えるべく、地道に活動していきたいと思っております。

力なくしてありえませんが、色々な方々との縁の大切さを思い知ることができました。この縁を広めていく一つとして、小学校や中学校などで、日本の文化を身に付けるための基礎を学ぶ茶道の授業を設ければいいの、といつも思います。私自身、もっと早く時間も体力も今以上にある時期に茶道と出会っていたら、今とはまた違った自分に出会っていたのではないかと、今からこのように気持ちになりました。しかし、今からこのように気持ちになったのであっても、若いうちに出会っていた